

都市再生整備計画

お お い た し ちゅう しん し が い ち ち く
大分市中心市街地地区

お お い た お お い た し
大分県 大分市

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大分県	市町村名	大分市	地区名	大分市中心市街地地区	面積	153 ha
計画期間	平成26年度～平成30年度	交付期間	平成26年度～平成30年度				

目標
■大目標 中心市街地における都市機能の利活用の促進（都市機能の利活用による親しみづくり、親しみや調和の醸成） □目標 1 中心市街地の南北一体化による都市機能の利活用と賑わい促進 □目標 2 人にやさしい魅力ある都市空間の育み

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 ・当地区は、大分駅を中心とした153haの区域です。 ・駅北地区は戦災復興の土地区画整理事業が行われ、大分県庁や大分市役所等の行政施設が立地し、複数の商店街や大規模商業施設などの商業業務機能が集積しています。 ・駅南地区は大分駅周辺総合整備事業により新しいまちづくりが進んでいます。 ・当地区のまちづくりは、「大分市総合計画」や「大分市都市計画マスタープラン」等の上位計画に基づき、大分駅付近連続立体交差事業や大分駅南土地区画整理事業、地域高規格道路庄の原佐野線等の関連事業の竣工と共に、情報文化都心の核施設であるホルトホール大分が完成し、ＪＲ大分駅ビルの建設や新たな県下の芸術文化創造の拠点を担う大分県立美術館の完成も控えています。 ・大分駅周辺地区においては、平成17年度から25年度にかけて社会資本総合整備計画事業を施行し、中心市街地における都市機能の充実及び魅力づくりの目標達成に向け、事業を遂行しています。 また、平成20年には大分市中心市街地活性化基本計画を策定。本計画では、「あなたのライフスタイルを彩るまちへ」を基本コンセプトにした、商業再生を軸とする中心市街地の活性化策として取り組んでいます。 ・当地区は、中活第二期計画を策定しその目標である「中心市街地における都市機能の充実及び魅力づくり」の達成に向け着々と事業を推進しており、地区内居住人口や生活利便施設も徐々に増加中、まちづくりイベント等も活発に開催されています。 ・本整備計画においては、間近に迫る県立美術館や大分駅ビルの完成並びに大分駅を中心とする交通結節機能整備の完了を見据え、中心市街地の更なる都市機能の充実及び賑わいの創出、魅力ある都市空間の整備に取り組めます。
・大分駅付近連続立体交差事業や大分駅南土地区画整理事業に関連する街路整備が整うことにより、生活の質及び安全・安心など多様な市民ニーズの向上に伴う居住人口の増加や大分駅へのアクセス強化への対応が求められている。 ・大分いこいの道と中央通りの連携強化による南北市街地の形成促進が求められる。 ・大分駅を中心とした様々な交通手段による結節機能の充実が求められている。 ・都市機能や施設の充実に伴い、中心市街地の魅力回復やさらなる賑わい創出が求められている。 ・来街者に対する適切な案内と情報提供の充実が求められている。 ・大分駅周辺の区画整理事業や民間開発の進展により、生活の質や安全性の向上に資する居住環境の整備が求められている。
将来ビジョン（中長期） ・大分市総合計画では、県都・中核市にふさわしい都市構造の構築に向け、総合的かつ計画的な都市の骨格形成を推進し、人にやさしく美しい都市空間の創造と整備を推進することとしている。また、全ての市民が利用できる複合文化交流施設により賑わいを創出するとともに、多様な都市機能を集積した暮らしやすい環境の整備を勧めるなど、大分駅南北における中心市街地の活性化を図り、風格と賑わいのある都市拠点の形成を目指す。 ・JR大分駅を中心とした南北市街地の一体化を促進し、既成市街地であり歴史的・文化的中枢を担ってきた駅北地区と、新しい都心の形成が進む駅南地区の役割分担と相互連携による、新しい都心の形成を図る。併せて鉄道の高架化により南北市街地の分断を解消されたことから、本市の玄関口であり、また交通結節拠点であるJR大分駅を中心に、南北市街地の連携による一体化を促進し、中心市街地のシンボルとなる都心南北軸の形成を図る。 ・個性ある文化を創造する拠点の形成として、歴史的資源が多く残るとともに、中心市街地におけるシンボリックな緑である大分城趾公園や都心の森など、多様な地域資源が豊富な地区の特性を活かし、市民や来街者が憩い・ふれあえる拠点の形成を図る。 ・大分市中心市街地活性化基本計画では、「激変する商業環境へのエリアマネジメントによる経営戦略の構築」「変化するまちと既存ストックの連続性による魅力の向上」「コミュニティ連携による新たな賑わいのスチーム構築」を中心市街地活性化の目標としている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
歩行者通行量	人	毎年実施している「大分市中心部における通行量調査」の土、日曜日の35地点の合計通行量	目標1の指標として用いる。市街地の南北一体化や賑わいを創出する拠点施設の整備により、年々減少傾向にある地区内の歩行者通行量を平成16年の水準まで回復させることを目標とする。	288,290人	平成25年	350,000人	平成30年
まちなか滞留時間	%	毎年実施している「大分市中心部における通行量調査」によるまちなか滞留時間3時間以上の割合	目標2の指標として用いる。歩行者や自転車に配慮した空間を整備するとともに賑わいを創出する拠点施設の整備を行い、年々減少傾向にあるまちなか滞留時間を平成12年の水準まで回復することを目標とする。	29.7%	平成25年	40.0%	平成30年

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	
整備方針1（目標1: 中心市街地の南北一体化による都市機能の利活用と賑わい促進） ○中心部へのアクセス強化及び様々な交通手段による結節機能の利活用を図る ○にぎわい創出に向けた施設整備と施策による賑わい促進	方針に合致する主要な事業 ■大分駅北口観光案内サイン設置 ■大分駅北口駅前広場情報案内板設置 ■中央住吉1号線修景 ■中央住吉2号線修景 ■中央町南春日線シェルター設置 □まちなかにぎわい創出事業 □環境にやさしい自転車のまちづくり啓発事業
整備方針2（目標2: 人にやさしい魅力ある都市空間の育み） ○地域資源の有効活用に向けた適切な案内と情報提供により中心部の回遊性を育む ○憩いの空間や多様なライフスタイルに対応した施設整備による地域の魅力を育む	■大分駅北口観光案内サイン設置 ■大分駅北口駅前広場情報案内板設置 □まちなか出店サポート事業 □通行量調査 □大分都心南北軸トータルデザイン設計業務委託 □事後評価調査
その他	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	429.7	交付限度額	193.3	国費率	0.45
---------	-------	-------	-------	-----	------

(金額の単位は百万円)

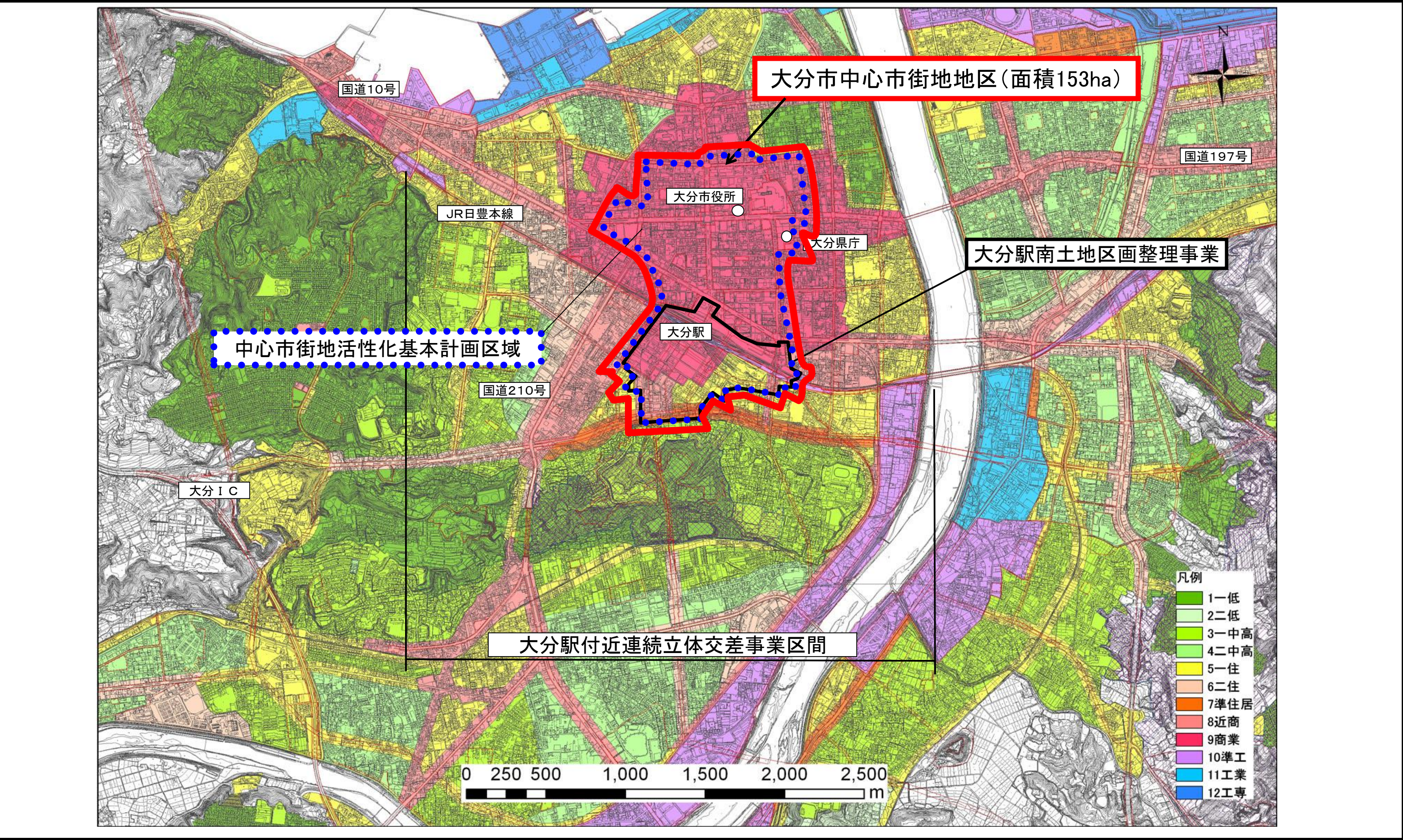
基幹事業														
事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	(参考)交付期間内事業費		交付対象事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路														
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		観光案内サイン設置	大分市	直	1基	H26	H26	H26	H26	11.5	11.5	11.5		11.5
		デジタルサイネージ型案内板設置	大分市	直	2基	H26	H26	H26	H26	20.0	20.0	20.0		20.0
高質空間形成施設		中央住吉1号線	大分市	直	L=330m	H26	H28	H26	H28	132.5	132.5	132.5		132.5
		中央住吉2号線	大分市	直	L=320m	H26	H27	H26	H27	132.5	132.5	132.5		132.5
		中央町南春日線	大分市	直	L=40m	H26	H26	H26	H26	60.0	60.0	60.0		60.0
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										356.5	356.5	356.5	0.0	356.5

提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業	まちなか出店サポート事業	大分市中心市街地地区	大分市	直	A=153ha	H26	H29	H26	H29	21.2	21.2	21.2		21.2
	まちなかにぎわい創出事業	大分市中心市街地地区	大分市	直	—	H26	H26	H26	H26	6.0	6.0	6.0		6.0
	環境にやさしい自転車のまちづくり啓発事業	大分市中心市街地地区	大分市	直	—	H26	H26	H26	H26	20.0	20.0	20.0		20.0
事業活用調 査	トータルデザイン策定調査	大分市中心市街地地区	大分市	直	—	H26	H26	H26	H26	1.0	1.0	1.0		1.0
	通行量調査	大分市中心市街地地区	大分市	直	—	H26	H30	H26	H30	20.0	20.0	20.0		20.0
	事後評価調査	大分市中心市街地地区	大分市	直	—	H30	H30	H30	H30	5.0	5.0	5.0		5.0
まちづくり活 動推進事業		—			—									0.0
		—			—									0.0
合計										73.2	73.2	73.2	0.0	73.2
													合計(A+B)	429.7

[illegible]

都市再生整備計画の区域

大分市中心市街地地区(大分県大分市)	面積	153 ha	区域	中央町1～4丁目、府内町1～3丁目、大手町1～3丁目、金池町1～5丁目、末広町1～2丁目、高砂町、都町1～4丁目、大道町1～4丁目、顕徳町1～3丁目、東大道1～2丁目、金池南1～2丁目の全部及び上野町、桜ヶ丘、荷揚町、六坊北町、寿町、大道5丁目、上野町、東大道3丁目の一部
--------------------	----	--------	----	--



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称:大分市中心市街地地区都市再生整備計画事業

事業主体名:大分市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○